

ニュースクリップ & 映像教材

- 優れた芸術・文化活動をサポートする「平成16年度助成活動」募集
- 「日本シミュレーション&ゲーミング学会2003年度秋季全国大会」開催
- 「IT教育支援協議会第2回フォーラム」開催
- 「Educational Solution Seminar 2003 in 大阪」
(情報教育対応教員研修全国セミナー)開催

AV情報

■優れた芸術・文化活動をサポートする「平成16年度助成活動」募集

独立行政法人日本芸術文化振興会では、芸術文化振興基金による助成対象活動を募集する。

募集対象は、平成16年4月1日から平成17年3月31日までの期間に行われる、芸術文化に関する団体等が自ら主催して行う活動であり、下記の分野ごとの募集となる。

〈芸術文化振興基金〉

- 舞台芸術等の創造普及活動（音楽、舞踊、演劇、伝統芸能他）／応募受付期間：平成15年12月1日(月)～12月12日(金)
- 映画の製作活動（劇映画、記録映画、アニメーション映画）／応募受付期間：[第1回目募集]平成16年1月26日(月)～1月30日(金)、[第2回目募集]平

成16年7月26日(月)～7月30日(金)

○地域の文化振興等の活動（地域文化施設の公演・展示活動、民俗文化財の保存活用活動他）／応募受付期間：当該分野は、各都道府県を通じての応募となるので、各都道府県の文化行政主管部に問い合わせのこと。

〈問い合わせ先〉

日本芸術文化振興会基金部
〒102-8656 東京都千代田区
隼町4-1

TEL 03-3265-7411 (代)

<http://www.ntj.jac.go.jp>

研究会情報

■「日本シミュレーション&ゲーミング学会2003年度秋季全国大会」開催

日本シミュレーション&ゲーミング学会では、「シミュレーション&ゲーミングにおける連携と拡大」をテーマに標記大会

を開催する。

〈開催日〉

平成15年11月29日(土)

〈会場〉

お茶の水女子大学
東京都文京区大塚2-1-1

〈内容〉

○シンポジウム

テーマ：「拡大し発展するゲーミング研究—近接学会の動向—」／話題提供者：對馬勝英氏（ゲーム学会会長）、谷岡一郎氏（ギャンブリング*ゲーミング学会会長）他

○「授業と教材部会」セッション

①「情報倫理教育におけるシミュレーションソフトの活用」／寶迫芳人（埼玉県所沢市立荒幡小学校）

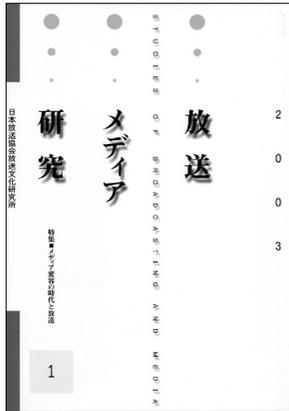
②「授業ゲーム」／江本理恵氏（東京工業大学）他

他発表多数あり。

〈参加費用〉

学会参加費：学会会員（一般

ブックレビュー



「放送メディア研究」

NHK放送文化研究所編 丸善プラネット 2003年5月刊 四六判 266頁 1,800円(税別)

NHK放送文化研究所は、42年間続いた「放送学研究」を衣替えし、新たに、「放送メディア研究」を発刊した。放送から「学」を切り離し、放送メディアを多メディア化の中核的機能に位置付けて論証する研究誌を目指すそうである。われわれも教育に関する研究が特集されることを願う。

第1号は「メディア変容の時代と放送」をテーマとし、社会情報学者の浜田純一氏が、国際政治学者の藤原帰一氏および哲学者の黒崎政男氏と対談した記録から始まっている。ふたりとも、増大するインターネットからの情報に対して、放送メディアの重要性を指摘していることは興味深い。

藤原氏は、インターネットは「規制されないメディアであるが

ゆえに、民族的偏見や誇張された議論が容易に伝播されやすい」と指摘した上で、情報の行き来が拡大する中で、信頼できる伝統的なメディアの役割は高まると、主張する。

黒崎氏は、「高校生の書いた感想文でも、アメリカの最深处から発言された情報でも同列というのがインターネットの情報です」として、「インターネットの情報というのはいっさい編集されていない。…(中略)…。そして、編集というか、情報の意味付けは、プロフェッショナルがやるべきで、それが使命だと思う」と述べている。

この「信頼」と「情報の意味付け」の役割を、これからの教師も担うことを示唆しているように実感された。

(和田正人)

2,500円、学生1,000円)・学会非会員(一般3,500円、学生2,000円)*学会当日受付にて納付

〈問い合わせ先〉

JASAG2003年度秋季全国大会事務局 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 大学院人間文化研究科内 FAX 03-5978-2559

<http://www.hss.ocha.ac.jp/psych/socpsy/jasag/jasag2003.htm>

■「IT教育支援協議会第2回フォーラム」開催

メディア教育開発センターでは、「遠隔教育における著作権とプラットフォームについて」と題し、標記フォーラムを開催する。

〈開催日〉

平成15年12月1日(月)

13:00~17:30

〈会場〉

東京国際交流館・国際交流会議

場(国際研究交流大学村)

東京都江東区青海2-79

TEL03-5520-6066

〈内容〉

○講演: 演題「eラーニングと著作権—遠隔教育を中心に—」/岡村久道氏(弁護士、近畿大学・奈良先端科学技術大学院大学兼任講師)

○報告: 「著作権に関する現状と取組み」/青木早苗氏(メディア教育開発センター教授)

○パネルディスカッション: テーマ「遠隔教育におけるプラットフォームについて」/梶田将司氏(名古屋大学情報連繫基盤センター助教授)、加藤直樹氏(岐阜大学総合情報メディアセンター教授)他

〈申し込み〉

インターネットにて申し込みを行う。

<http://www.nime.ac.jp/it2003/>

〈問い合わせ先〉

メディア教育開発センター

〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-12

TEL 043-298-3083

FAX 043-298-3476

■「Educational Solution Seminar 2003 in 大阪」(情報教育対応教員研修全国セミナー)開催

(社)日本教育工学振興会では、実際の教育現場でITの活用や情報教育に、積極的に取り組む先生方の事例発表を中心とした標記セミナーを開催する。

〈開催日〉

平成15年11月8日(土)

13:00~17:00

〈会場〉

OAPタワー17階 富士通(株)内セミナー会場

〈内容〉

○講演①: 「教育の情報化」最新動向/高橋直久氏(日本教育工学振興会企画部長)

文部科学省情報

エル・ネットを活用した 教育改革フォーラム開催

生涯学習政策局政策課 学習情報政策課

エル・ネットでは、教育改革の推進を図り、教育基本法改正についての国民的議論を深めるため、平成15年10月4日に開催された「教育改革フォーラム—エル・ネットで結ぶ新しい教育—《教育改革の推進と教育基本法の在り方について》」の模様を放送しました。

1. 教育基本法の見直し

教育基本法は、我が国の教育の根本を定める重要な法律ですが、昭和22年の制定以来、一度も改正されずに半世紀以上が経過しています。平成12年12月の教育改革国民会議報告においては、同法の見直しを検討すべきことが提言されました。平成15年3月の中央教育審議会答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」においても、現行法の普遍的な理念は大切しつつ、今日極めて重要と考えられ

る理念や原則を明確にするため、同法の改正を行うことが必要であると指摘されました。

2. エル・ネット「教育改革フォーラム」

文部科学省では、教育基本法の改正に先立ち、何よりも同法についての国民的理解を深めることが重要であるとの考えから、まず、教育改革の推進や教育基本法の改正について、より多くの方々に関心をもって議論を深めていただくことが必要との観点から、平成15年5月から6月にかけて、山口、熊本、新潟、北海道、愛知の5会場で「教育改革フォーラム」を開催しました。

これらに続いて新たな試みとして行われたのが、平成15年10月4日に開催された今回の「教育改革フォーラム—エル・ネットで結ぶ新しい教育—《教育改革の推進と教育基本法の在り方について》」です。今回のフォーラムでは、東京（虎ノ門ホール）、石川（石川県教育センター）、香川（香川県教育センター）の3会場をエル・ネットによって結び、会場間を双方向で衛星中継しました。

フォーラムでは、河村建夫文部科学大臣の挨拶、鳥居泰彦中央教育審議会会長による基調講演「日本の教育の新しい時代を

拓く～中央教育審議会の取り組み～に引き続き、後半は3会場のパネリストの間でパネルディスカッションを実施しました。

パネルディスカッションでは、大学教授、PTA関係者、新聞社論説委員等の様々な立場のパネリストにより、教育基本法改正の是非に加え、大学改革の在り方、家庭教育の在り方や家庭・地域と学校の連携・協力について等、幅広いテーマについて白熱した議論が交わされました。ディスカッション後には会場との質疑応答において、各会場に来場された方から熱心な質問が寄せられました。

この模様は全国986のエル・ネット受信局に同時放送され、全国の多くの方に視聴いただくとともに、録画・複製等により各種研修に活用されるなど、様々な形で活用されています。受信局の教育センター等からは「全体としてよい勉強になった」、「教育基本法の歴史的背景や今何が課題なのかが明確になった」等の感想が寄せられています。

文部科学省では、今後ともエル・ネット等の様々な手段を通じて、教育改革や教育基本法の改正に対する国民的理解を深める取り組みを進めていく予定です。 <関連記事35頁参照>

○講演②：「校内ネットワークの活用について」／中島唯介氏（京都府京田辺市教育委員会指導主事）

○講演③：バーチャル模造紙「わいわいレコーダー」の活用について／蔦利次氏（株）JR四国コミュニケーションウェア営業部担当部長）

○講演④：「校内LANにおけるグループウェアの活用」／降矢俊彦氏（山梨県上野原町立平和

中学校教諭）

<参加申し込み>

11月6日（木）までにインターネットにて申し込みを行う。参加費無料。

http://tco.fds.co.jp/es_seminar/osakasemi/

短 信

■ワールドエール(株)は、平成15年10月14日付で本社を移転した。

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-23-5 プレジデントビル1号館
TEL 03-3225-7021
FAX 03-3225-5893

■イーストマン・コダック社は、スライドプロジェクターの製造を平成16年6月で終了する。

これにともないコダック(株)は、日本国内での販売は同6月に日本へ入荷する分の在庫をもって終了の予定。(問い合わせ：03-5540-9000)